



新年のご挨拶

核融合科学研究所長
小森 彰 夫

皆様、あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年は、核融合科学研究所の大型ヘリカル装置に係わる大型プロジェクト計画と政策コンテストに対してパブリックコメントが実施されました。皆様には、多数、ご意見等をご提出いただいたものと思ひ、深く感謝申し上げます。深く感謝申し上げます。

核融合研では、日本中の方に核融合発電の必要性和研究の現状を知っていただくため、昨年7月、「核融合はここまで来た！ヘリカルが切り拓く未来のエネルギー」と題して、講演、工作教室、展示などからなるFusionフェスタ in Tokyoを日本科学未来館で開催し、1000人を超える方々にご来場いただきました。また、大学共同利用機関協議会では、一般市民の方を対象に秋葉原でシンポジウムを11月に開催し、約570名の方にご参加いただき、大学共同利用機関へのご理解を深めていただきました。今後も、このような催しを継続して行っていきたいと考えています。

核融合研は、昨年の4月に研究部を、8月には管理部を改組し、大学共同利用機関として共同研究者の皆様と研究活動を機動的にさらに発展させていく体制を整えることができました。これまでの研究組織は、二つの研究部と三つの

センターに分かれており、専門的な研究を推進するには適した研究体制であったかも知れませんが、今後必要となる、個々の成果を互いに協力して体系化する研究には必ずしも適していませんでした。このため、研究組織を七つの研究系と六ヶ所研究センターからなるヘリカル研究部に統合し、LHD実験、数値炉に向けた研究、工学研究及び連携研究は、各系から研究者が参加することにより推進するプロジェクトとしました。これにより、研究系を横系に例えるとプロジェクトが縦系となって、体系化研究がしっかり行える研究体制が構築されたといえます。また、この研究体制は、新規のプロジェクトを立ち上げることが容易で、機動的に研究を進展させて行くことができます。

研究組織の改組により、共同研究の受け入れ態勢は変わりますが、共同研究の内容や仕組みは影響を受けません。核融合研では、共同研究を促進するための創意工夫を常に行っています。今回も、この共同研究の受け入れ態勢の変更を絶好の機会と捉え、来年度から一般共同研究で次のような幾つかの新しい試みを実施することにしました。まず、平成16年度に開始した「相互交流型共同研究」を廃止し、研究会を除くすべての共同研究を双方向で行えるようにします。

従来の共同研究は、核融合研と大学等との一対一の関係を基本としているため、研究者の移動は大学等と核融合研の間に限られていました。しかし、来年度からは、核融合研と複数の大学等が連携して初めて実施できる「ネットワーク型共同研究」を新たに開始し、この共同研究の遂行のため、大学等間の研究者の移動も可能にしました。共同研究の代表者は、これまで国内機関の所属者に限定していましたが、計算機の利用を除き、外国在住の研究者にも認めることとしました。ただし、研究費は日本国内でのみ使用し、旅費も国内のみに限らせていただきます。さらに、移動と貸し出しが可能な実験機器を核融合研が整備・管理し、これを使って各大学で共同研究を遂行する制度を新たに設けました。来年度から、これらの試みを実施しますが、評価・見直しを常に行い、共同研究の促進に大きく貢献できる仕組み・制度に育てていきたいと思ひます。

核融合研は、研究活動だけでなく、オープンキャンパス(一般公開)や、昨年、名古屋市で開催されたCOP10などでの広報活動をはじめ、科学工作教室などによる子供たちの理科離れを防ぐ活動への協力、また、スーパー・サイエンス・ハイ

スクール(SSH)事業への協力活動などを積極的に行っています。管理部では、これらの活動だけでなく、共同研究者や外国人研究者への支援事業についても各担当で的確な対応を行っていますが、これらの業務を従来よりもさらに連携が取れるようにするために担当業務の見直しを行いました。総務や財務などの仕事も業務の見直しを行い、より良い管理体制の構築を目指して昨年8月に管理部を改組しました。今後は、この新たな体制を活かして、改組後の研究活動や上述のような活動をさらに円滑に推進していく所存です。共同研究者の皆様がこの改組で気付けられることは、ユーザーズオフィスをビジターセンターと一般的な分かりやすい名称に改め、図書館棟の玄関正面に移したことだと思ひます。核融合研では、今後も、共同研究者の皆様により利用しやすい、より分かりやすい研究支援体制の構築を目指して行きたいと考えています。

最後になりますが、皆様のご多幸をお祈りするとともに、核融合科学研究所への益々のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

